醍醐寺什寶目 第輯 上下

R703.8
79
R703.8-Ta79ウ
1200500767533

始

第1165

醍醐寺什寶品目 第一輯 之下

東京帝國大學藏

26. 4. 27

R
703.8
TA79

百寶之府

L 03
5
24.3
23123

明治丙申四月

載仁親王題

天平のむかし、いといちしるき寺院に合せて、緣起、流記、資財帳といふものを、注進せしめ給ふが故に、其創建由來をも、はじめて、資財靈寶にいたるまで、あまかに記しつけて奉りしより、追すがひて、牒上行はれしと、なほ貞觀格にも、諸國の定額寺の資財帳のあとを定めらるゝ、官符を載せたれば、當時もその格文によりて、嚴重に注進せしが、天曆の頃ほひまでは、この事ありしが如く、其あと處處に見ゆたり、さて後はいかゞありけむ、維新のあなたも、敎部省の令にて、各國の寺院の明細帳及び什器寶物、或は古文書等を、いとこまかに注進せしめられたる、今も猶その定の如くあるべし、こゝは山城國醍醐寺の一山は、西京の東南ゑ位置して、歷史、宗敎、はた建築、什寶などのうへにとりても、他にをさ〳〵類を見ざるばかり、稀世の一大寶刹にして、本山の開基は、理源大師、即ち聖寶大僧正なり。かばかりの古刹も維新の後は、頽敗大かたあらず、いちしるき建築什寶なども、時勢に伴はれて、維持する事、ほと〳〵難からむとす、然るに今や曆明の氣運めぐり來て、國寶保存のことは、天下の輿論となりて、いともかしこさ、

皇室の御あたりにも、其意を用ゐさせ給ひて、何くれに涉り、深く篤くなほざりならぬ樞要の事ども、おきて給へりとか承りぬ、最もしかあるべき御事ならむかしと、いと〳〵かしこし。されば上中下の有志の人ゝ、ゑの醍醐寺の實況を觀たらむには、しか國寶保存の、わが國家に必用あるべき事の感懷を、いよ〳〵惹起し、ます〳〵覺らむものならむとす、

理源大師は、弘法大師の法孫にして、

宇多醍醐の二帝ことに尊信したまひ、始て眞言事相部中に、小野流をひらき、又役行者の修驗宗を中興せられたれば、ゑれを一流一宗の開祖とあふげり、醍醐の一山は、實に貞觀十八年の草創にして、今を距るゑと凡一千餘年のむかしより、やがて引つゞきてみさかりに、

朱雀村上の二帝も、おほ深く篤く本山を信じ給ひ、また其後も、

白河帝、中宮の御ために、一寺を建させ給ひしほどの御事ありしに、王民にして、

多かりし二百有餘に及べりき。況んや大師の出自を尋るに、生れて年十六、貞觀寺の眞雅僧正に隨ひ得度す、其

光仁天皇第一皇子、正四位下春日親王の後、五世の恒蔭王の御事なり。

のち苦行歲月を送り、その宗敎に種〻の功勞を盡されし事、枚擧に遑あらず、寬平九年にいたりて、年六十六、少僧都に任し

昌泰四年にいたりて、年七十、大僧都に任し、延喜二年にいたりて、年七十一、權僧正に任し、同六年にいたりて、年七十五、

僧正に任せらる。また城都周遊の間に造る所の佛像若干を始て、寫す所の經論等そのくはしき事、又普明寺にて疾病ゑ罹るや、

いとかしこくも、

宇多醍醐の二帝、親らその蓐床に臨ませ給ひし御事ゑど、みな承平七年の記進に係る、根本僧正傳と題するものゑ、いと詳なり、就て見るべきにこそ。

三寶院は、十四代の座主勝覺僧正の創立にして、漸く理性院、報恩院、金剛王院無量壽院、等の四寺をひらきしが、皆門跡に

列しければ、世に醍醐の五門跡と稱して崇敬す。然るに應仁の大亂に際して、一山大に衰へしも、第八十代の座主義演准后は、豊臣秀吉公に信を得られて、壯麗構造、ひとかたならぬ再興の功を遂らるるにいたりしが、慶長年間、公は伏見に在城ありしからに、桃山より大道をひらき、つねに本山よ逍遙せられて、その宮殿を營築し、林泉をも設置せられたり、これみな公の意匠に出つ、世に醍醐の花見とて、今なほ談柄にするも、やがて此處あれば、そのしたゝかある事ぞもおもふべし。現に大書院といふものは、かの藤原家の全盛のをりに、もはらものして寢殿造りといひし所の式なれば、そのつゞきに泉殿あり、東を上の間とし、西のひと間を、能樂の舞臺にもあてらるゝが如くに、されをしつらふ。すべて〳〵當寺の建築は、たまゝ〳〵中古意匠全盛時代の樣式を、いま目の前に觀るものにして、他所に此類決めてあらざる、構造の一典型なりや。しかのみならず、本山所有の中古近代に渉る、　宸翰、　勅書の類はいふに及ばず、和漢書籍、歴史家乘の古寫本、古寫經、法敎典、或は近代の諸記錄など、實に枚擧に遑あらざるが中に就ても、足利幕府に出入せし、滿濟准后日記、文祿慶長ごろ、豊公に親密せりし、義演准后日記の類は、わが徒のつねに垂涎して、史の闕を補ふべき無類の寶錄なり。其他の書籍記錄など、いまだ文檪のまゝにして檢閲を遂げざるものいと夥しく、佛像、法具、佛畫、敎書の什寶に富むなど、これを見聞するに、實に法敎に、歴史に、文學に、美術に、こよなき利益をあたふるとぞ、そも〳〵幾許ぞや。さればその各種の什寶を縱覽せむとするには、まづ部類をわけたる標目こそ必要ならめと、かの天平の資財帳のむかしを憶ひ起して、ふたび玉園快應氏にとゝとりて、ふの品目を製するに、はしがき一ことそへてよともとめらるゝにまかせて、いさゝか記憶のかたはしにあはせて、眼に見しあたりの有さまをかくものしつ、もとより緣起由來などの如きは、別にくはしき具書あれば、それらを註見してありなむとぞ。

明治二十九年の四月ばかり

東京の小杉榲邨しるす

ふの標紙の文樣は、本寺の古歌集、續門葉集といふものゝ御外題夾みを、後水尾院帝の御物好みにて調したる、その形のまゝをうつせるなり。さてその御外題は、靈元院帝の宸筆あり、今なほ本寺に所藏す。又ふの品目の外題の形は、後水尾院帝の、これも御物好みに出つる、御しをりをうつせるあり。されば皆快應氏のみやびに出つ、因みにふゝにしるしそふ。

醍醐寺什寶品目第壹輯之上

總目

佛像
木像……二百七十軀
銀像……壹軀
銅像……四十軀
塑像……二軀
石像……十二軀

佛畫
曼荼羅……七十五種
佛菩薩……八十一種
明王……六十一幅
天部……九幅
宵像……百卅三幅
佛像粉本……八十種

佛具……五十五種

經卷
古寫……壹百五種
古板……十七種

聖經……七種

醍醐寺什寶品目第壹輯之下

總目

書畫
懸幅……廿六幅
卷帖……四十一卷
冊子……四十一冊
屏風……廿二種
扁額……五面

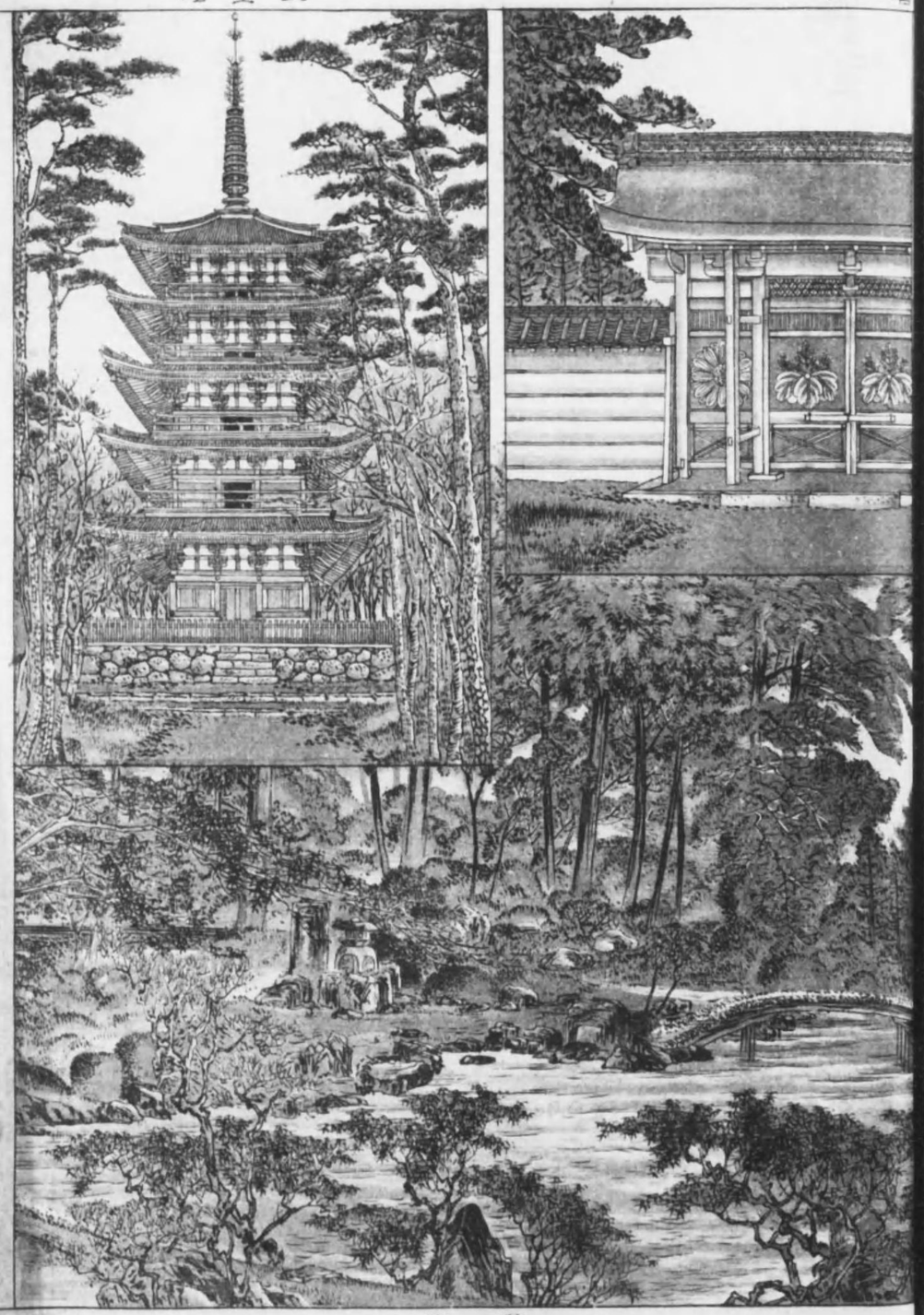
陶磁器……八種
冶鑄器……十四種
彫刻……四種
刀劍……七振
音曲器……七種
絲器……廿二種
衣裳……九領
剪綵繪……壹種
茗器……卅一種
輿……五種
雜品……五種

山城国醍醐山三宝院境内絵図

醍醐天皇尊影

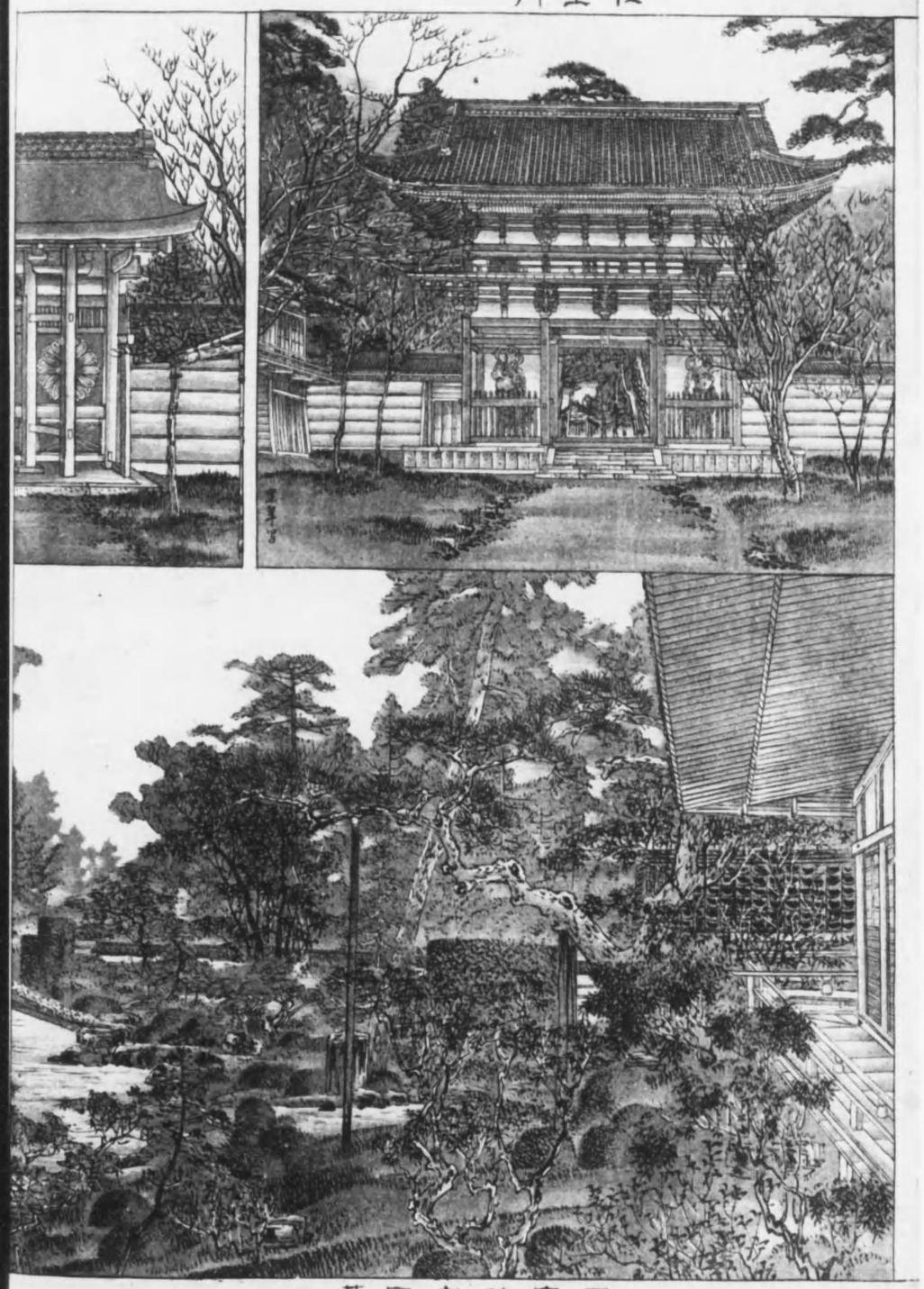
五重塔

唐門



其二

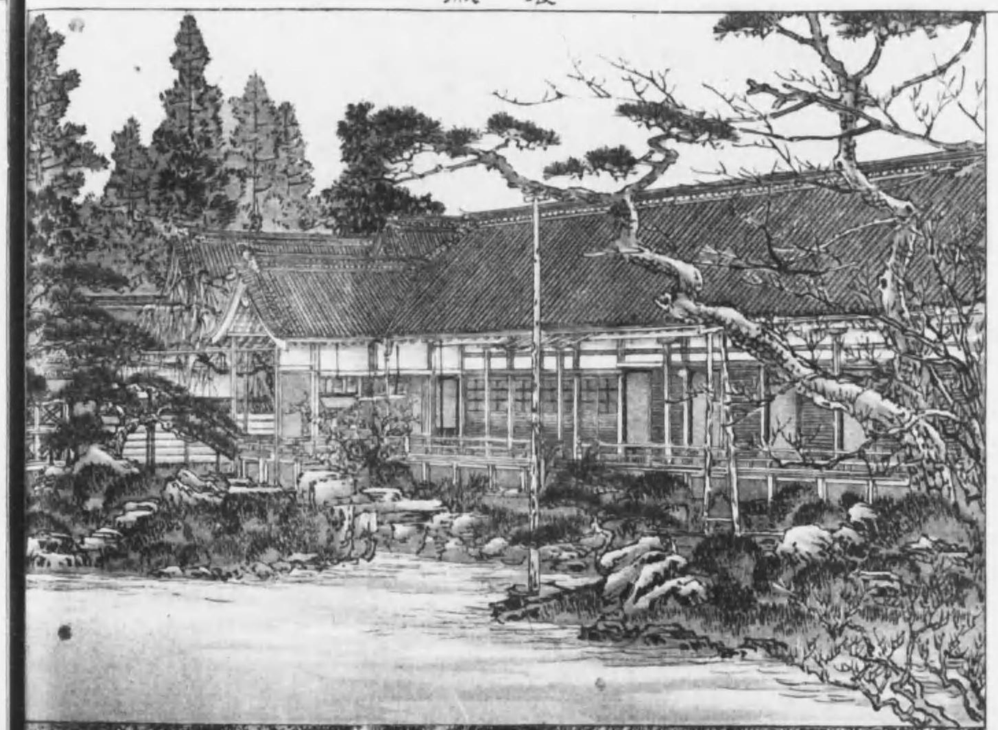
仁王門



三寶院庭園其一

金剛界大日如來木像

震殿



五秘密畫像

降三世明王畫像

天台王一清筆

醍醐寺什寶品目第壹輯之上

佛像

○木像

金剛界大日如來　安阿彌作　八尺壹軀
同　作者不詳　八寸同
同　運慶作　七尺同
同　康勝法眼作　四尺八寸同
同　作者不詳　四尺同
同　仝　一尺同
同　仝　四尺同
胎藏界大日如來　仝　八寸同
五佛　會理作　各一尺五軀
釋迦如來　運慶作　三尺四寸壹軀
脇士文殊普賢菩薩　大宮佛師作　各三尺貳軀
釋迦如來　四尺一寸壹軀
脇士文殊普賢菩薩　各三尺貳軀
阿彌陀如來　運慶作　四尺一寸壹軀
同　作者不詳　二尺三寸同
同　運慶作　三尺五寸同
同　作者不詳　七寸同
同　仝　二尺二寸同
同　智証大師作　六尺八寸同
脇士觀音勢至菩薩　各四尺八寸貳軀
同　作者不詳　二尺五寸壹軀
同　定朝作　五尺一寸同
同　作者不詳　三尺八寸同
同　仝　一尺七寸同
同　理源大師作　三尺五寸同
同　仝　三尺同
同　作者不詳　二尺八寸同
同　仝　二尺八寸同
同　仝　四尺同
同　仝　三尺同
同　仝　二尺同
同　役行者作　三尺同
同　作者不詳　二尺四寸同
同　仝　一尺一寸同
同　仝　一尺七寸同
同　仝　一尺同
同　會理作　四尺五寸同
同　仝　一尺二寸同
同　仝　一尺同
同　作者不詳　三尺二寸同
同　仝　三尺三寸同
同　會理作　一丈二尺同
同　作者不詳　各五尺五寸二軀
同　仝　一丈八尺壹軀
同　仝　各六尺三寸貳軀
同　仝　三尺二寸壹軀
十一面觀音　仝　九寸同
同　仝　一尺同
同　仝　一尺五寸同
脇士千手十一面觀音　仝　弘法大師作異尊三尺九寸同
同　仝　作者不詳　一尺五寸同
同　地藏菩薩　作者不詳　三尺九寸同
同　仝　二尺同
藥師如來　會理作　二尺同
同　作者不詳　二尺同
脇士日光月光菩薩　仝　二尺同
同　作者不詳　三尺同
同　仝　一尺同
千手觀音　天平頃之作　一丈同
同　作者不詳　二尺同
同　仝　一尺同
脇士毘沙門天　仝　三尺同
同　地藏菩薩　仝　三尺同
同　仝　二尺同
脇士毘沙門天　仝　二尺同
同　地藏菩薩　運慶作　二尺同
正觀音　作者不詳　三尺二寸同
同　仝　三尺三寸同
同　理源大師作　二尺二寸同
西國三十三所觀音　仝　各一尺二寸卅三軀
同　仝　各一尺五寸同
彌勒菩薩　安阿彌作　八尺壹軀
同　理源大師作　二尺二寸同
同　作者不詳　五尺二寸同
同　仝　一尺二尺同
同　仝　五尺五寸同
准服觀音　仝　九寸同
同　理源大師作　八尺五寸同
同　作者不詳　四尺三寸同
同　仝　三尺八寸同
同　仝　六寸同
同　理源大師作　八尺五寸同
同　作者不詳　四尺三寸同
同　運慶作　三尺六寸同
同　作者不詳　一尺二寸同
同　仝　一尺二寸同
同　仝　二尺三寸同
同　仝　二尺同
同　仝　三尺同
同　仝　一尺同

同同同同同同同同同同同同同同同獻　獻　一同元皮同觀同同同役同同同同同同同同同同文殊
言　○銅　天　像　言寺本願阿波内侍　祖賢　賢　行　勤　菩　菩　理
○銀　天　像　本元　慈信　信　者　菩　菩　殊
願海深正　正　尊　薩　薩　大
全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全全師
同四寸六分壺鐘　五寸六寸壺鐘　一尺七寸同　二尺五寸寸同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
一尺六寸壺鐘　一尺七寸同　二尺五寸寸同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同同
二尺二寸五分同同
二尺二寸五分同同
二尺二寸五分同同
同同同同同同役同不　動　同不　鏡板高印役同同理獻八兩　同同不十處同同
行　動　　魔度　行　源　碧　大金剛童　動一生　薬師如来
者　明○石　明○虹　者　大　明觀釋
尊　王　王　虹　佛佛尊　師天童子子　王音迦
同三五大師作之不動三　像　像
四七同一六五寸寸二三五尺　四七同一六五寸寸二三五尺　二四六七四四一二五各各二一四七二三一尺
寸三分同同同同分同尺同壺鐘　寸七四寸八七五寸寸尺六二三寸尺寸寸二寸尺七寸壺鐘
仁王經曼荼羅　九品浄土曼荼羅　同同同北斗曼荼羅　同大日金輪曼荼羅　愛染曼荼羅　佛眼曼荼羅　同大勝金剛曼荼羅　同法花二天曼荼羅　十種子曼荼羅　同同焔魔天曼荼羅　文殊五字曼荼羅　同六字曼荼羅　同同同尊勝曼荼羅　佛説○曼荼羅
全全全全同同同同同同同同同同同同同同同同同同同

仁王經曼荼羅　仁王經御修法本尊珍海已講筆　幅同五尺
秘曼荼羅　筆者不詳　幅同三尺六寸
悉曇秘曼荼羅　仝　幅同二尺四寸
同　同
佛涅槃變相　仝　幅同四尺三寸
同　仝　紙本着色三尺五寸
同　仝　幅同九尺
涅槃像　理源大師筆　幅紙本着色二尺七寸
行者曼荼羅　仝　幅同二尺六寸
三十臂大元明王　太元御修法本尊弘法大師筆　幅同七尺一寸
四臂大元明王　仝　幅同五尺四寸
八臂大元明王　仝　幅同五尺八寸
虛空藏曼荼羅　仝　幅同五尺四寸五分
釋迦曼荼羅　仝　幅同五尺四寸五分
毘沙門曼荼羅　仝　幅同五尺七寸
金胎尊形曼荼羅　珍海已講筆　幅同四尺七寸
同　筆者不詳　同
同　仝　幅同四尺四寸
同　仝　幅同三尺八寸五分
同　仝　幅同三尺六寸
同　仝　幅同三尺四寸
同　仝　幅同四尺一寸
金胎種子曼荼羅　成賢筆　紙本着色二尺六寸
同　仁海筆　幅同二尺四寸
同　晴爲筆　幅同三尺六寸
同　筆者不詳　幅同二尺三寸
同　仝　幅同二尺二寸
同　仝　幅同一尺八寸五分
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸五分
金胎尊形曼荼羅　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
金剛界曼荼羅　仝　紫絹金泥　幅同二尺三寸
金銅金胎曼荼羅　元圓光院安置四尺四方
○佛菩薩
大日如來　筆者不詳　絹本着色　幅同二尺五寸
釋迦如來　仝　幅同四尺三寸
釋迦三尊　元呆僧都筆　紙本着色　幅同三尺五寸
同　筆者不詳　幅同一尺五寸
同　仝　同
同　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸五分
同　仝　幅同一尺八寸
金胎尊形曼荼羅　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同一尺八寸五分
金泥種子曼荼羅　勝覺筆　紙本着色　幅同一尺八寸
金胎尊形曼荼羅　筆者不詳　絹本着色　幅同二尺三寸五分
同　仝　幅同四尺三寸
同　仝　幅同二尺九寸
同　仝　幅同三尺六寸
同　仝　幅同三尺五寸
同　仝　紙本着色　幅同四尺八寸
同　仝　幅同
同　仝　幅同六尺三寸
同　仝　同
同　仝　幅同二尺
同　仝　幅八寸
同　仝　幅五尺五寸
同　仝　幅同二尺
同　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同一尺八寸五分
同　仝　幅同一尺八寸
藥師如來　仝　幅同三尺六寸
同　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同四尺二寸
同　仝　幅同二尺
阿彌陀如來　仝　幅同二尺五寸
彌陀來迎佛　惠心僧都筆　幅同一尺七寸
紅玻璃色阿彌陀如來　筆者不詳　幅同二尺六寸五分
同　仝　幅同一尺
同　仝　幅同一尺九寸
十三佛　法橋榮賢筆　幅同一尺九寸
同　仝　幅同一尺九寸
同　仝　幅同二尺二寸
五秘密　筆者不詳　絹本着色　幅同三尺
同　仝　幅同二尺八寸
同　仝　幅同二尺一寸五分
地藏菩薩　金岡筆　幅同二尺七寸
同　筆者不詳　幅同一尺七寸五分
千躰地藏　仝　幅同三尺五寸
同　仝　幅同二尺九寸
文殊菩薩　仝　幅同三尺
同　仝　幅同二尺七寸
同　仝　幅同一尺七寸五分
同　仝　幅同四尺
延命菩薩　珍海已講筆　幅同三尺六寸
同　護持僧本尊筆者不詳　幅同三尺六寸
同　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同一尺
同　仝　幅同二尺一寸

延命菩薩　竹持僧本尊筆者不詳　絹本着色　幅同二尺四寸
同　仝　幅同二尺九寸
同　仝　幅同四尺三寸
同　仝　幅同二尺五寸
同　仝　幅同三尺三寸
同　仝　幅同四尺
同　仝　幅同三尺五寸
准服佛母尊　理源大師筆　幅同三尺五寸
同　筆者不詳　幅同三尺六寸
同　仝　幅同二尺四寸
同　筆者不詳　同
同　仝　幅同一尺八寸
如意輪觀音　理源大師筆　幅同三尺三寸
同　筆者不詳　幅同二尺四寸
同　仝　幅同二尺三寸四分
同　仝　幅同二尺四寸
同　仝　幅同一尺九寸
同　仝　幅同一尺九寸
同　仝　幅同二尺一寸
同　理源大師筆　幅同一尺九寸
同　筆者不詳　幅同二尺二寸五分
同　仝　幅同一尺九寸
十一面觀音　仝　幅同一尺九寸
同　仝　幅同三尺二寸
千手觀音　仝　幅同二尺五寸
正觀音　仝　幅同一尺八寸
如意輪觀音　理源大師筆　幅同一尺六寸
准服觀音　筆者不詳　幅同一尺九寸
般若菩薩　仝　幅同三尺七寸
大般若本尊　仝　幅同二尺五寸
同　仝　幅同一尺八寸
虛空藏菩薩　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同三尺三寸
朝熊虛空藏菩薩　辛酉御新本尊筆者不詳　幅同二尺
五大虛空藏菩薩　仝　幅同三尺六寸五分
求聞持本尊　筆者不詳　幅同二尺二寸五分
同　仝　幅同三尺
布薩本尊　仝　幅同三尺三寸
清瀧權現本地佛　理源大師筆　幅同一尺八寸
同　筆者不詳　幅同一尺一寸七分
同　仝　幅同二尺九寸
同　仝　幅同一尺八寸
同　仝　幅同二尺三寸五分
白山權現本地佛　仝　幅同一尺九寸五分
同　仝　幅同一尺九寸
阿字蓮月　弘法大師筆　幅同一尺九寸
切句字　仝　幅同一尺九寸五分
○明王
五大尊　弘法大師筆　絹本着色　幅同五尺五寸
同　智泉筆　幅同二尺
同　筆者不詳　紙本着色　幅同二尺
同　弘法大師筆　幅同三尺二寸
不動明王　裏書　此尊像者大傳法院覺鐵上人眞蹟靈驗異于他者也爲後代加裏書畢　天文廿一壬子五月廿八日　絹本着色　幅同四尺四寸
同　仝　紙本着色　幅同三尺四寸
同　仝　幅同五尺一寸
同　仝　幅同四尺一寸
同　仝　幅同二尺二寸
同　仝　幅同二尺五寸
同　仝　幅同五尺八寸
八臂大元明王　仝　幅同二尺五寸
同　仝　幅同三尺五寸
五大力明王　光茂筆　幅同五尺
大元明王　筆者不詳　幅同二尺五寸
同　仝　幅同三尺五寸
千躰不動　仝　幅同二尺七寸五分
同　仝　紙本着色　幅同二尺五寸
同　仝　幅同一尺九寸五分
座主前法務前大僧正義堯　花押　筆者不詳　絹本着色　幅同二尺
同　仝　幅同一尺九寸
妙澤筆　筆者不詳　幅同一尺八寸
同　仝　幅同二尺三寸五分
雪護上人筆　筆者不詳　幅同一尺九寸
同　仝　幅同二尺六寸
同　仝　幅同三尺四寸
同　仝　幅同二尺五寸
同　仝　幅同二尺四寸
同　宗澄筆　幅同三尺三寸
同　筆者不詳　幅同二尺五寸
同　仝　幅同二尺五寸
同　仝　幅同三尺五寸
同　弘法大師筆　幅同四尺一寸
同　筆者不詳　幅同五尺一寸
同　仝　紙本着色　幅同二尺五寸
同　仝　幅同二尺七寸五分
同　仝　幅同五尺一寸
八臂大元明王　仝　紙本着色　幅同四尺七寸
同　原在中筆

同　絹本着色　御産御祈本　幅二尺五寸　尊筆者不詳
愛染明王
同　仝　筆者不詳
同　仝　幅二尺
同　仝　幅二尺二寸五分
同　仝　幅二尺九寸五分
同　仝　幅二尺六寸五分
同　仝　同
同　仝　幅四尺六寸
同　仝　幅二尺四寸
同　仝　幅一尺五寸
愛染明王相傳之次第
右品像者弘法大師御眞筆
白河院御譲真石御本尊代々御相傳
僧都切出押付
上種子ハ大佛頂陀羅尼御筆ノ中ヨリ源運給云云
愛醍醐寺座主勝覺權僧正長日御祈禱依
被仰付御歸依之餘寛治六年五月十五日
自院爲本尊被給了其後天承元年二月五
日定海僧正相傳之定海僧正依有懇切之
所望三密坊聖賢相傳云云聖賢阿闍梨源
運僧都相傳之源運僧都相加劔併此明王
像賢朝阿闍梨相傳之賢朝阿闍梨融暉法
印相傳之融暉法印良嚴刑部卿法印相傳
之良嚴播磨已講相傳之播磨法印永尊弘
安七年三月廿日蓮眼相傳了而師第契約
不淺之上年來爲此明王持者難去被所望
之間奉相傳道信御房了穴賢可被秘藏候
努々
正安二年九月八日　蓮眼判
同　絹本着色　幅四尺五寸
裏書　此尊者智泉御筆云云三寶院累代
相傳之靈像也秘藏々々勿令散失去天正
十一年巳來護摩每月一七ヶ日自餘以供凡
始行爲恒式于今不怠轉于時慶長第九之
暦甲辰月日修復　今度破損之本尊數幅修覆畢
開眼供養畢　座主准三宮義演享年四十有七記之
正保二年六月上旬比修復重開眼供養畢
座主覺定
同　絹本着色　幅二尺二寸
同　仝　幅三尺四寸五分
同　仝　幅二尺八寸一分
大威德明王　筆者不詳
軍荼梨明王　同
梵闍婆明王　仝
○天部
毘沙門天　智泉筆　幅二尺七寸五分
雨寶童子　筆者不詳　幅三尺
同　仝　幅三尺一寸五分
同　仝　幅二尺九寸
同　仝　幅三尺
同　仝　幅二尺九寸八分
同　仝　幅四尺五寸
同　仝　幅五尺一寸
同　仝　幅三尺八寸
○肖像　各幅
八祖大師
同　絹本着色
同　稚兒御影
同　理源大師　畫教阿闍筆　贊后光嚴院眞筆
同　源運僧都
同　弘法大師　同
同　仝
同　仝
同　仝

五大虛空藏　圓明院藏　壹葉
愛染明王　全
毘沙門天　弘安元年信海之本　雜事所本尊　全
毘沙門天　大小　貳葉
降三世等四明王　賢海之本　壹卷
太元明王　貳葉
孔雀明王　般若寺僧正之本　壹葉
金翅鳥王　全
大日金輪　總仁元年之本　全
善如龍王　古唐紙　全
九曜星　長寬二年三月之本　全
普賢延命尊　建久九年六月廿四日寫　全
求聞持本尊　大安寺道慈請來　貳葉
訶梨帝母　壹葉
日吉七社神影　全
妙見　賢海之本　全
諸天　全
寶光月如來　全
虛空藏菩薩　全
毘樓勒叉天　全
金陵大師紙形　慶長十四檢表演准后書付　全
准提佛母尊　着色　全
閻魔天　絹本　全
北辰帝君　信海之筆　全
金剛童子紙形　仁平二年　全
七星如意輪　五葉
五方諸尊　四葉
八大菩薩扉繪　壹葉
深沙大將　全
大威德　全
海岸寺藥師如來　全
辨財天　全

訶耶喜梨婆　壹葉
大勝金剛　全
馬鳴菩薩　全
六字讚　全
星如意輪　源尊之本　全

○佛具

鍍金九鈷杵　青皮寶龕付　傳云高麗唐人持來　長六寸四分　長五寸六分
鍍金三鈷杵　高野大師御請來　口徑二寸二分　長六寸
鍍金剛鈴　全　嘉果阿闍梨御所持　長六寸四分
鍍金五鈷杵　長六寸
鍍金人面三鈷杵　理源大師御所持　長八寸八分
鍍金三三鈷杵
塗金大三鈷杵
鍍金大獨鈷杵　長八寸
鍍金五鈷杵　印度製　長六寸
鍍金五鈷杵　全　長六寸五分
鍍金大五鈷杵　長八寸
鍍金五鈷杵　長七寸五分
白檀三杵　高野大師御作　長各四寸二分
鍍金三杵　長各六寸五分
鍍金金剛盤　御請來形　新古貳面
鍍金金剛鈴　全　新古　口徑各五寸六分　二口　幅八寸五分
鍍金古磬　木金貳本
鍍金十二幅輪　仁王經御修法所用　五寸
鍍金經筥　御修法大檀用云々　壹個
鍍金大火舍　太元御修法所用口徑六寸六分　壹面
小檀鍍金前具　云報恩院形　壹
鍍金小形六器　口徑貳寸
花摘籠　銅製　口徑九寸五分
寶劍　云靈切之銘　壹尺五寸
闕迦桶　唐銅製　口徑六寸　壹組
三寶院流灌頂佛具　減金　壹組
理性院流灌頂佛具　全　同
無量壽院流灌頂佛具　全　同
金剛王院流灌頂佛具　全　同
地藏院流灌頂佛具　全　同
太元御修法佛具　全　同
五大尊御修法佛具　全　同
鍍金五種鈴　內塔鈴口徑三寸八分　壹組
秘密筥　鍍金紛溜梨子地等　七組
据筥香爐筥　六組
戒體箱　六組
鍍金如意　木柄　蟠螭摸樣　全　虫喰彫　二柄乃各三尺三寸　大小拾三柄
鍍金如意　全
鍍金大獨鈷杵　長八寸
鍍金五鈷杵　長六寸五分
鍍金大五鈷杵　長七寸五分
鍍金五鈷杵　長八寸
鍍金五鈷杵　長八寸
鍍金獨鈷杵　長六寸三分
鍍金獨鈷杵　長五寸六分
鍍金獨鈷杵　長八寸三分
鍍金獨鈷杵　打物　智証大師御所持　舍利二粒入　普賢院澄意從土　中感得　高野大師御請來　支那製　長五寸
鍍金獨鈷杵　長五寸
鍍金獨鈷杵　長六寸三分
鍍金獨鈷杵　長六寸三分
鍍金如意塔　古銅鍍金水晶木製等　拾五基

法螺　淺口發御紙付　鍍川家管附　壹對
法螺　鍍金玉石入　大小　卅六口
玉幡　鍍金玉石入　三組
糸幡　生糸鍍金製長壹丈餘　八流
禮堂幡　六十流
花鬘　鍍金　五十牧
花籠　鍍金　五十牧
竹裏花籠　大佛供養所用云々　十牧

經卷

古寫

最勝王經殘闕五行　上宮太子書　紺紙金泥
包紙　聖德太子御筆佐渡國分寺最勝王經云云永仁二年二月十二日參入願行上人之方丈之處拜見之間申請候矣
法印權大僧都　花押
貞和三年三月廿四日愛丸　從五位下　入上醍醐釋迦水本院室之時引出物也予相伴之間太子御筆最勝王經同相傳了　上宮太子書
殘闕經本壹葉五行　紺紙金泥
奧書　門跡相承內聖德太子御筆　五行紺紙　爲御守所奉渡進上之也　前僧正隆淳
應永三年十一月八日
大樂金剛不空眞實三昧耶經般若波羅密多理趣品
奧書　文明第十六暦感得
後宇多法皇御宸筆
天長印信　後醍醐帝宸筆
奧書　此印信文者大師御筆代々座主相承之重寶也然祖師三寶院權僧正時一本寫之座右置之常爲拜見也正寫共三寶院嫡々相承大事不傳此印信輙□□者冥慮可恐々々然今上聖主誠大師再誕秘藏帝王□爲末代□流重寶延元四年六月十五日今上皇帝宸筆所申下也代々座主之外不可開見若違此旨三□寶八大高祖知見證罰給勿□云云
于時延元四年六月十六日記之　但一行餘二十字紺紙落
醍醐寺坐主大僧正法印大和尙位弘眞　花押
同六月廿五日後宇多院御國忌曼荼導師
勤仕畢職衆十六口同廿六日東寺坐主拜任畢
摩訶般若波羅密多心經　後奈良院宸筆　紺紙金泥
奧書　今茲天下大疫萬民多沾於死亡朕爲民父母德不能覆甚自痛焉寫般若心經一卷於金字使義堯僧正供養之庶幾摩爲疾病之妙藥矣
于時天文九年六月十七日　後柏原帝宸筆
佛說阿彌陀經　紺紙金泥
包紙　此紺紙金泥小阿彌陀經者天正廿年七月十九日　仙洞奉爲陽光院　當今御父帝　御七回忌曼荼羅供被行也導師之事依　院宣予勤仕了內題六字者　正親町院　陽光院殿　結父帝也　宸筆也姚秦三藏以下者當今宸筆也職衆十六口　堂上　僧正堯助　唄大僧都堯演　序云云　權大僧都俊長　散華　權律師師俊宥　讀國退着　廳公卿三人菊亭右大臣　晴季庭田前大納言　重保　三條權中納言　公仲奉行權大少辨經這堂童子雲客十六人于時慶長九年卯月五日　准三宮義演
過去現在因果經　第三　一卷
奧書　四月七日寫書生從八位　一卷
中阿含經
奧書　天平寶字元年閏八月廿五日式部位子少初位下上毛野君大河勘本經
天平寶字三年九月九日文部書生大初位上高赤麻呂寫
散位從八位下大網君廣道初校坤宮舍人少初位上奏忌寸忍國再校左大舍人少初位上大隅忌寸君足三校裝書匠散位少初位上秦忌寸東人裝用穀紙廿八張　一卷
注大般涅槃經　卷第四
奧書　皇后藤原氏光明子奉爲尊考贈正一位大政大臣府君尊妣贈從一位橘氏太夫人敬寫一切經論及律莊嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥助永庇菩提之樹長遊般若之津又願上奉　聖朝恒延福壽下及寮采共盡忠節又光明子自發誓言弘濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩提乃至傳燈無窮流布天下開名持卷獲福消災一切迷方會歸覺路天平十二年五月一日記　一卷
四分量決　（寶龜三年　山階寺一塵筆）　卷第六
成唯識論　卷第九　紺紙金泥
卷首春日社御寶前　女弟子藤原氏　筆者不詳　有鳥業假名　筆者不詳
梵網經卷上　筆者不詳
阿彌陀經　筆者不詳
大般涅槃經四相品　筆者不詳
理趣經　筆者不詳
大般若經五百九十七　筆者不詳
瑜祇經第一　紺紙金泥　筆者不詳
法花經普門品　金紙金泥　筆者不詳
淨土三部經　白紙金泥　細楷精正
大方廣佛華嚴經卷第三十九　高麗本　紺紙銀泥　高麗本
佛說父母恩重經
伏爲聖壽天長國泰民安又爲先亡父母親緣三世覆位興福寺沙門行禪証

師親法界含靈悉脫苦趣同生安樂聞法悟道
次及己身離諸災難此報盡時生々世々同世
一處不難三寶助楊佛事供養衆具皆悉滿足
廣度有情同歸覺岸者耳　庚戌四月日敬書
施主比丘　慈　淑　信日
同願比丘　　　

第十六寫本云長寛二季始自十月一日迄
于同潤十月十六日巳上具縁品巳
下十四品於金剛峯寺西谷佛種房
菴室奉受之了其次以證　本兩三
讀合了聽衆一兩西法房上人等也
殘四局依風氣被坐不記之耳
沙門　勝賢
朱建保五年五月廿四日朱點了
第十七建保五年仲夏下旬移點了
第十八建保五年正月廿二日於醍醐寺三
寶院北房書寫了　沙門　深賢
第十九建保五年二月六日書寫了
同年五月十九日　沙門　深賢
第二十建保五年丁巳四月十二日書寫了抑
一部書寫者多年畜懷也雖然始
而不遂之或懷徒送年然去年之暦
初秋之天適證本方始首題遂以兩
年十箇月之間既果一筆廿卷之功
了
金剛佛子權律師深賢生年三十九
同年六月三一交移點了
外題師主僧正醍醐院知御手跡也
寫本者心覺阿闍梨持本云々花押
奉讓先師岳東院僧正御房本證也
法花義疏　吉藏師撰　十二卷之内　四卷
奥書　第三建仁三年十月二十七日移點
畢
此義疏一部不交他筆移點畢是偏爲興隆
佛法也此本唐禪院本也不慮住京之間於
高倉坊生之宿所功畢更不可置他所必可
安置上醍醐也背此狀横成妨押領之人本
山清澄大明神可罰彼人也　乘　運
奥書　第五第六無之

同第十二建久元年四月廿一日下拜殿卅
講畢十二年之間不關勤也　乘　運
元暦元年六月廿七日爲眞阿聖人往生極
樂也
朱同七月一日點了　一交了　乘運之本
願以書寫善　生々開慧眼
世々得聰持　自他成佛道
般若心經　足利尊氏筆　若宮八幡納經之内　一卷
理趣經　一卷
奥書　三寶院大僧正賢俊相當四十九日
佛事般若理趣經一卷自書寫者也
延文二年八月廿八日
正二位源朝臣尊氏花押
遍照金剛遺告書
奥書　法務大僧正弘眞相傳本
延元三年四月十四日所經　高覽以宸筆
所被下相傳本也秘藏々々法務大僧正弘
眞奉持本也花押
包紙　正長元年七月八日虫拂了
准　三　宮花押
高祖大師眞筆御遺告一局弘眞僧正令隨
身離寺以來既送數十年歲月畢爰彼僧正
遺跡當寺居住越前國云云仍申入　公方
之間不日被召出被返入本寺經藏者也併
鎮守權現神慮高祖大師冥助者哉未來
相傳仁如守眼精不可出當寺若背此旨定
鎮守三寶可加治罰給者歟尤可恐々々
奥書弘眞僧正自筆亦相傳之由後醍醐院
被筆染宸畢
應永廿九年八月廿一日　座　主花押
包紙　永正十四年五月十四日御蟲拂之
次於御前奉開之　大僧都源雅
大黒天講式　應永廿八年　智泉書

佛說盂蘭盆經　一卷
奥書　應永廿三年丙申七月十一日於釋
迦院閑窓頓寫即移點訖
西溪老侶七旬有六　壹部
大雲輪請雨經
奥書　應永二年乙亥天七月下旬比以内
山本一校即未□□彼本上下二局也此本
一帖一卷之樣也全文改同調□是大異歟
但如御請來六者大雲輪請雨經一局云云
猶可尋也矣
大雲輪請雨經　壹卷
奥書　本云集數本書寫校點畢　東寺沙
門成　本自建保三年六月六日於神泉苑
請雨經法勤行之及第七日廿雨普潤即日
結願了
貞應三年六月十日於醍醐寺西南院書寫
校點了但書寫者以他筆誂了金剛佛子法
眼道教本生年廿五正嘉元年七月十七日於上
醍醐覺洞院奉傳受了金剛佛子
文永三年六月廿七日於醍醐寺地藏院奉
傳受了金剛佛子親玄
賜此結本應長元年十二月十一日昏鐘之
時燈下走筆終功者　紙數三十三枚有
之
八名經　壹卷
奥書　于時正長二季仲夏中四日依誂師
阿闍梨不顧惡筆一時之間書寫之畢
金剛佛子覺深
右以相承本書寫畢法則等畧如律阿彌陀
經也經者唯尚呂不違呂阿彌陀經合殺廻
向者呂律相交如律阿彌陀經後學以此口
傳可別而已
嘉慶貳年六月五日　大僧都深譽

正長貳年五月廿一日於醍醐寺妙法院北
部屋以深譽法印之本博士等校合畢
沙門　弘慶
祈願集
奥書　去應仁之亂仁和寺御經藏ヨリ出
御聖教ノ隨一法印實承一校了
阿彌陀講式
奥書　文安五年二月三日書寫之
雖爲惡筆内々爲稽古不顧后見恥辱片時
ノ間書寫之定テ可有落字者乎右筆□花
押
一切如來心秘密全身舍利寶篋印陀羅尼經
奥書　慶長第十三之暦林鐘上旬馳禿
毫畢　座主准三宮花押五十有一年
金剛頂經瑜伽十八會指歸　壹卷
奥書　慶長十三暦仲夏二月六日書了
深納箱底莫令他散□花押
秘密漫荼羅十住心論　壹部
奥書　全部拾冊斷拙筆書寫了輙不出箱
之底是紛失之基也依聖教法命相續無章
疏佛貴何住未資莫輕可愼云云于時元祿
三稔玉次寶中旬記之矣　金剛佛子花押
眞言集　壹部
奥書　右眞言集上中下三卷明暦元年乙未
卯月八日師天阿上人以御本書令書寫校
合了　逼照院心阿
出家授戒作法
奥書　于時天正第七之暦十月上旬候於
金剛輪院以報恩院靈深僧正御自筆今摸
寫了但神分已下者以隆源僧正筆同書加
了　座主准三宮義演
般若心經　紺紙金泥法体前大僧正房淀書寫之　一卷
佛說阿彌陀經　壹卷
奥書　明德二年六月廿三日依密藏院法
印御房御命令書寫付博士畢彼本者故逼
智院二品　王應安元年六月之比被申談
大金剛院宮（大覺寺門主深守）重御再治本也
博士圖口傳等在別紙而已　法印權大僧
都深譽　慶長十四載己酉孟夏廿二日
加修覆畢
傳領義演書之　壹卷
般若心經
奥書　衛君書寫畢　明和五戊子八月上旬
理趣經　筆者不詳　一卷
孔雀經　筆者不詳　一部
大毘盧舍那成佛經第三　一卷
奥書（朱）同年同月廿九日已點了　一交了
悉曇字母　諸師傳云云所謂人々梵字
舍利供養略式　筆者不詳
八名普密陀羅尼　紺紙金泥　壹卷
仝　壹卷
奥書　當院坊主海法印筆跡也　令秘藏
慶安二年七月朔日以或本合點了
前大僧正寛濟
般若心經　近衛家熙筆　一部
蘇悉地羯羅經請問品　紺紙金泥　筆者不詳
般若心經　石川備中守筆　一卷
奥書　享保三年龍集戊戌冬十一月十四
日於伏陽官舍奉書寫之
從五位下備中守源朝臣總乘
○古版
宋版大藏經　（後乘坊奉納）全部
同大般若經三百七十八　（政和年間印版）一卷
同華嚴經二十七　（咸淳年間印版）一卷
同菩薩戒羯磨文　（卷首有地藏寺印）一卷
同文殊指南圖讃　一卷
大方廣佛花嚴經　八十一卷
奥書　第一卷刻經緣起
華嚴之刻也庚午秋同友人張　公過長壽
菴譚及華嚴法寶之難於嶺土將歲刻一卷
流通十方可乎不慧曰是經卷數頗多恐歲
月之久何能告成不慧遂承刻全部以答
三寶及雙者之恩惟諸公助梨棗足矣連以
緣阻癸酉購梨材冬初起工甲戌冬週歲而
工已竣自始事及率工皆不慧拮据厥事凡
五社講式　高賢僧正筆　二部
大孔雀明王經　一部
不空索神咒心經　壹卷
奥書　保　年六月廿八日移轉畢
法華經普門品　紺紙金泥　壹卷
滅金經宮表書　壹卷
奉納金字普門品經西國卅三所内
願主　明南
享祿五天今月日　一卷
金剛界禮懺　筆者不明

見聞受持如是經者當生難遭想發無上心
如經所說悉皆持行庶可答　諸佛之弘恩
然亦不虛弘俊之初願耳
崇禎七年歲在甲戌孟冬雲巢主人弘俊黃
公俊識

奧書第二
皇明崇貞七年歲在甲戌孟冬南海郡佛子
弘俊捐捨淨貲奉刻
大方廣佛華嚴經全部流通十方上祝
皇圖永固　帝道遐昌　佛日增輝
法輪常轉　在堂嚴慈福祉遐茂
祿壽延綿發大乘正信荷佛智慧入金剛心
成无上道更祈弘俊業障冰消惡緣空寂戒
德莊嚴辯才无礙頓破无明入月覺海報盡
蓮邦上生蒙佛授記世世生生行菩薩道行
願等於普賢慈悲同於觀世再願興四恩三
有同登華藏玄門八難三塗同入毘盧性海
者

奧書第八十一有復庵和尚華嚴綸貫依長
文省之

古版仁王經（世云醍醐版）二卷
奧書建武五年六月九日修覆之訖前大僧
正賢助持經之
應永廿五　七月晦日奉修覆之訖祖師菩
提寺前大僧正坊奧書也
傳　領　滿濟

同仁王經　二卷
奧書　右醍醐寺櫻會之時摺寫印版紛失
之間今依群議以上古本重彫刻訖願此功
德普及一切天下泰平五穀成就文武百寮
各願圓滿佛法興隆伽藍繁昌諸人快樂與
善結緣二世大願決定成就乃至法界平等
利益矣
明應八年己未三月六日上醍醐寺

大日經疏　廿卷
奧書　第一
建治三年丁丑五月四日於金剛峯信藝書
爲續三寶慧命於三會之出世廣施一善利
益於一切之衆生是則守大師之遺誡偷令
遂小臣之心願勤以開印板矣
建治三年丁丑八月　日
從五位上行秋田城介藤原朝臣

同奧書　第二
建治三年丁丑六月三日於金剛峯寺信藝書
爲續三寶慧命於三會之出世廣施一善利
益於一切之衆生是則守大師之遺誡偷令
遂小臣之心願謹以開印板矣
建治三年丁丑九月　日
從五位上行秋田城介藤原朝臣

奧書　第三
建治三年丁丑六月廿三日於金剛峯寺信藝
書

奧書　第四
建治三年丁丑七月六日於金剛峯寺信藝書

奧書　第五
建治三年丁丑七月廿五日於金剛峯寺信藝
書

奧書　第六
建治三年丁丑十月廿三日於金剛峯寺信藝
書

奧書　第七
建治三年丁丑十一月三日於金剛峯寺信藝
書

奧書　第八
建治三年丁丑十一月十九日於金剛峯寺信
藝書

奧書　第九
弘安三年三月廿一日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十
建治四年戊寅正月八日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十一
建治四年戊寅二月四日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十二
弘安元年戊寅四月二日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十三
弘安元年戊寅八月廿二日於金剛峯寺信藝
書

奧書　第十四
弘安元年戊寅十月四日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十五
弘安元年戊寅十一月四日於金剛峯寺信藝
書

奧書　第十六
弘安元年戊寅十一月十六日於金剛峯寺信
藝書

奧書　第十七
弘安元年十一月晦日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十八
弘安二年正月三日於金剛峯寺信藝書

奧書　第十九
弘安二年四月四日於金剛峯寺信藝書

奧書　第二十
爲續三寶慧命於三會之出世廣施一善利
益於一切之衆生是則守大師遺誡偷令遂
小臣之心願謹以開印板矣
弘安二年己卯四月　日
從五位上行秋田城介藤原朝臣泰盛

大經疏一部少卷招學侶十許輩廣考覈
其文字於是願主尊閣啓　仁和寺二品
大王賜證本兩帙兼得當山中院明算阿闍
梨書本今彼兩本以爲准的若猶致有疑則
間披諸本審決差當第九疏翻梵文博吃又
義揆字諸本有異魚魯難辯第十二疏引緣
定方位　字可用絣歟加之麁註相濫廻文
紛綸並用證本不得自由又至文字作者以
切韻及玉篇所勘載也但　則獨載和書猶
指當疏亦復准多本此例稍韭依深謹慎之
思不顯加顯之功者也
弘安元年十一月十一日金剛佛子良和
記之
弘安二年四月廿三日於金剛峯寺信藝
書

阿彌陀經　一卷
奧書　正中二年正月一日於山陵坊博士
畢賢照之應永十六年林鐘之頃自或方相
傳之杲常之
五部大經　十六冊
奧書　右經五七軸印版雇師主權僧正十
三回之忌命鏤梓而置此於東寺西院冀以
此無盡莊嚴之法文資彼三覺圓滿之菩提
亦望續密藏於三會救群生於彼岸矣
嘉吉元年辛酉六月十五日
權律師覺增謹識

理趣經　一卷
奧書　右此一卷者　高祖大師八百五
十年忌舞樂曼荼羅供之分經也

佛垂般涅槃略說教誡經　一卷
奧書　貞享四年龍飛丁卯臘月吉日經生
種玉軒甲谷善六壽梓印

金剛頂經　三卷
奧書　今月朔日利政依有懇篤之信心忽
授兩部之印可畢
後日此三卷幷大日經全部奉上之暫時勿
渡于他所秘藏云云
于時慶長十七年壬子六月十二日　法務花押
釋摩訶衍論　八冊
奧書　慶長十四稔　酉　月　日全部
十帖感得也勵老眼點校之暫時莫移于他
所是併散失之基也可愼々々矣
座主准三后花押

一冊
卧字義
奧書　爲奉報高祖鴻恩蒙貴賤助成謹以
開印板矣
元和二丙辰曆二月二十一日
願主東寺順宗

孟蘭盆經　一卷
細字法華經　一卷

聖教

三寶院流聖教　全部
理性院流聖教　全
無量壽院流聖教　全
金剛王院流聖教　全
地藏院流聖教　全
中院流聖教　全
安祥寺流聖教　全

醍醐寺什寶品目第壹之下

書畫

○懸幅

兩大師寶號　後水尾帝宸筆
懷紙　後奈良院宸筆
後水尾帝宸筆
靈光院法皇宸筆
同　仙洞良仁宸筆
同　中務卿親仁親王
同　近衛龍山公
同　蠶司教平
同　輔平
同　藤原信房
同　准三宮滿濟
同　義演
同　內大臣信義
消息　細川幽齋
片桐且元
織田信長
同　子晶筆
七言絕句　絹本着色
同言　絹本黑畫
醍醐天皇御尊影　天台王一之筆
蘆雁之圖　林良筆
荷葉之國　同
紅葉賀之圖　絹本着色　狩野常信筆
枯木小禽之圖　絹本黑畫　陳琳筆
田子浦之圖　女院房子筆
十九仙人之圖　絹本着色　屠龍筆
梅月之圖　明宮筆
瀧之圖　菅原成起等合作

○卷帖

後宇多院宸筆御竪文　實淨冤三通　壹卷
古筆大手鑑　壹帖
古筆小手鑑　壹卷
尊師傳　七年九月十七日　理源大師筆
東南院主房起請　全
奧書　右開山根本尊師御眞筆今度不慮
太閤秀吉公執事石田治部少輔所望依難
默止右六行切遣之仍寫留畢
文祿五年正月廿一日准三宮法務花押
老僧寃罪云々　理源大師筆　壹卷
奉狸毛筆文　弘法大師筆　全
佛隆寺鍾銘　成賢僧正筆　全
最澄尺牘集　釋月筆　正應二年　全
滿濟准后戒牒　青蓮院尊道筆　全
覺定增正戒牒　青蓮院尊純筆　全
義賢僧正戒牒　妙法院堯仁筆　全
佐山宮文書　全
堯空上人之書　全
本朝文粹卷第六　卷首欠
奧書　延慶元年十一月十八日依少人之
芳命染禿筆了
執事沙門禪兼長春九之

遊　仙　窟　奥書　右此書者江中納言維時卿唐和聖主爲學士之際再三之蒙　宣之處未聞今見之剩仰天之境節或仁云木古島神主所傳也仍維時卿乘毛車罷之處彼神主着布衣目文車虫喰書取出之云云君者文王之大祖我朝之文士也然而所存如此仍被授畢其后所召御侍讀也　壹卷

本云　正安二年二月十一日書寫之
　　同廿八日交點了
　　康永三年十月十六日摸之訖

法印權大僧都宗算花押

論語卷第七　卷首欠　壹卷

奥書　文永五年閏正月六日書寫之畢
　　五月七日移點了
同七年後五月二日重見合了移勘物等
文永七年十二月十三日以累家之說奉授
三品羽林芳閑畢　主殿權助中原師秀
文永七年十二月廿八日以累家之說奉授
三品羽林芳閑畢　主殿權助中原師秀

文集　第三　第四　二帖

奥書　永正元甲子孟夏十日御領之金剛
　　輪院常住

文　應永廿三年八月三日　壹卷
　　鳥羽僧正筆

戲　男色　繪詞　仝
　　米元章眞跡　仝
花見之和歌　壹帖（愈公觀花短冊一葉　貼壹百卅一　序並和歌中山愛　規卿繪露香婆）
倭花名品　壹卷
績門葉集　拾卷
筆者　第一憲淳僧正　第二筆者不知
　　第三筆者不知　第四中性院僧都
　　第五同筆　第六憲淳僧都
　　第七右王歷　第八隆舜僧正
　　第九同筆　第拾圓俊法印

五十三驛書　序源光國畫不詳　壹帖
省畊亭十二景詩　壹卷
峯中秘圖　仝
廿四孝之圖　二卷
六首和歌　壹卷
　　九怪幸家公
竹　梵字名號　仝
酒呑童子退治之圖　仝
麻姑山圖　仝
上林賦圖　石摺（仇英筆、序文微明、跋俊明、水戸前中納言光國寄附筆者不明）　壹卷
百老之圖　仝
五十賀詩歌並圖　仝
六十賀之和歌　仝
古稀年賀之詩歌　仝
嘉玉來之詩歌　仝
連枝會之詩仝並圖　仝
集
尙齒會之圖並記　仝

○冊　子

粉川大率都婆建立緣起　壹冊
大安寺緣起　仝
東大寺盧遮那大佛願文　仝
清水寺建立記　仝
高野寺緣起　仝
子島山寺建立緣起　仝
招提寺建立緣起　仝
六角堂緣起　仝
藥師寺緣起　仝
放光菩薩記　仝
龍門寺緣起　仝
彌勒本朝大師　仝
興福寺緣起　仝
關寺緣起　仝
大神宮法講會緣起　仝
西大寺緣起　仝
元興寺緣起　仝
以上建永二年七月十日寫

性　靈　集　拾冊

奥書第一　此書者故隆濟僧正持本也而先年比有種々契約所讓與也又同注廣本文句廣博之間拔要取詮愚身相伴抄出畢十卷同被讓之芳情尤深懇志難忘相副本書所令案座右也
　　沙門法助記之

奥書第六　御本云承安五年二月十三日晡時奉授禪定大王畢李部少卿敦經同談義理又腎請閣梨侍座時也雨已止雲未晴矣
　　御史中丞兼備林學士敦周

奥書第十　貞應第二齊仲秋下旬候引合勘注讀覺蓮房阿闍梨訖或訪西郊學窓或

攀南山禪編久送數廻之曆適終一返之功矣

寶治元年十一月四日御本校合移點畢合
朱朱墨注之件本依　北院御室仰文章博士
敦周點進之又校合或本爲長卿點畢
一部十帖故隆澄僧正持本也先年法付屬
于予了可秘可秘　法助記之

三　寶　繪　壹冊

奥書云　源爲憲撰　寛喜二年寫叡賢裏
具注曆

論　語　自一至五　何晏集解　壹冊

中　庸　仝

明應二年癸巳孟秋廿八日目下足利
　出來本寫之

日本紀　神代上　卷首欠　古寫本　仝

探要法花驗記上下　二冊

奥書卷上　嘉偵三年七月廿二日於醍醐
寺地藏院申刻書寫之畢爲一乘結緣終數
日徵功也欣求菩提沙門深賢記之　朱書同
八月十四日點了土用○

奥書卷下　嘉偵二年春潤二月廿二日宰
相公終書功了于時櫻花盛開見之興之叢
滿寺門云云　不論貴賤與親疎之謂可實哉
云云

抑予仰信法花之結緣之至令書之也書寫
此經二部轉讀又及百餘部一句一偈之緣
猶以莫疎雖淺豈其空哉

金剛資　花押

弘法大師御年譜　卷首欠　壹冊
　　建久四年五月十八日書寫　曆應四年四月校合　金剛佛子（名虫損）

弘法大師御傳　卷首欠　壹冊
　　寛文十年十一月　稱賢所寫　三冊

弘法大師廣傳　深賢筆

奥書卷上　太上皇有勅請下大師安置中務省供養月餘還久居高雄　是眞濟僧正傳文也　弘仁時無太上皇重可考或傳天長九年有此事可尋　承久第二之曆大○上句之候以遍智院御本書了
　　賜紫沙門深賢

奥書卷下　寫本云承元四年十一月一日於醍醐寺遍智院書寫了　此傳二卷上下聖賢阿闍梨三密房集也

承久二年正月廿五日以件御本於今地藏院北房書寫了　東寺沙門成

東寺沙門權律師深賢　壹冊

弘法大師高野遺誡文　壹冊

奥書　仁治四年二月六日於醍醐寺書寫之　沙門　俊圓

十卷四冊

續門葉和歌集　壹冊

慶長九歲　月　日全部十卷爲傳末代全書寫了

無　名　抄　壹冊

奥書　文明四年壬辰之春以東野州常緣之正本寫之　自然齊宗祇更傳余　此正本又有異本數多或名無題抄或號無名抄令以無名題抄可爲實名者也
　　明應六年丁巳之秋牡丹花寫之

伊　勢　物　語　仝

指　徵　韻　鑑　一條殿御筆　仝

奥書　嘉吉元季仲春頃　權律師俊慶

文　集　第三　第四　二帖

奥書　永正元甲子　孟夏十日御領之
　　金剛輪院常住

理趣經開題跋　二本

奥書　保元二年三月十五日丑時許於金剛密寺書了　慶長十六歲次辛亥九月十三日求之春良之

付　法　傳　卷二　壹冊

嘉祿二年六月七日於遍智院奉傳授了同聞衆九人也建久二年五月六日金剛佛子賢高野山蓮臺院書寫之

呌　字　秘　釋　壹冊
　　永仁三年四月十四日以覺濟僧正本書寫
　　校點畢

聖　經　目　錄　壹冊
　　正治二年閏二月之頃以御本書寫之仝十九日校合金剛佛子良尋

三　敎　指　揮　壹冊

奥書　慶長十三　月　日修覆矣傳領

證　談　抄　壹冊

奥書　貞治二年九月下旬比終功拭老眼書寫此本自高野隨身沙門結判　應安四年正月十二日以遍智院親王御自筆之本寫

文明十一年五月　日　弘譽　起之

新撰遊覺往來　壹冊

平　氏　傳　奥書長祿四年寫　壹冊

石山寺緣起　壹冊

奥書　慶長七壬寅年九月二十三日石山寺觀音堂供養舞樂萬茶羅供辱師畢職衆卅二口大施主權大納言秀賴卿依嚴命無爲令執行矣委讓別記畢　法務准三宮

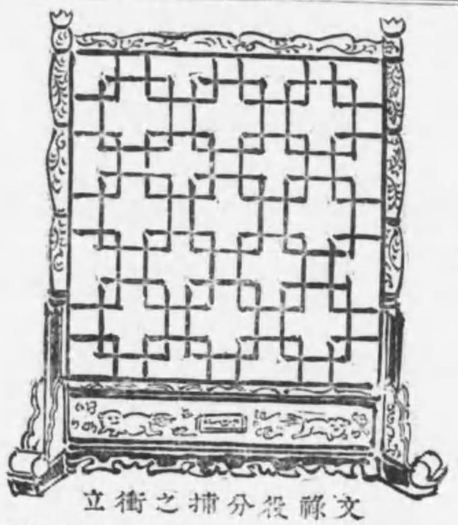
續門葉集　壹帖（通村卿筆　外題靈元帝宸筆）

添翰　往年通村公新寫之續門葉集全一冊　被入　法皇叡覽候誠祖師憲淳僧正撰集之功不殘　御感被覺召候依之御外題之事就被申仰望　當今被染　宸翰候且又集之筥從法皇被仰付被下候尤筥之外題者通茂卿筆皆以依　法皇叡慮如此候貴僧之大幸不及申述累代寺門之榮耀無限珍寶別而可有藏取候恐々謹言
　　九月十二日　定　短

五八代記　義演准后筆　壹冊　宣豐

○屏風

山水圖　六曲斤隻新古六組
十二天圖　六曲一隻新古五組　長谷川等伯筆　六曲　一雙　仝
千羽鳥圖
源氏五十四圖團扇形張交　筆者不詳六曲　一雙　仝
櫻花小禽圖　山口雪溪筆　六曲　一雙　仝
紅葉小禽圖　同　六曲　一雙　仝
十二月景物圖　畫定家歌意生絹等嵯筆　六曲　一雙　座
牡丹萩之圖　景文筆　二曲　一雙
小松曳虫狩之圖　光字筆　六曲小一雙
尙齒會之圖　紀重就筆　六曲小一雙
菊之衝　在中筆　六曲小一雙
立　文祿役朝鮮分捕品　一脚
青松白鷺花車圖　法橋筆　大一脚　銀
正水筆　大一脚　盃
獵鞍之圖　小一脚　中
書畫狀交　小一脚　小
來章筆　大小二脚　徑



文祿役分捕之衝立

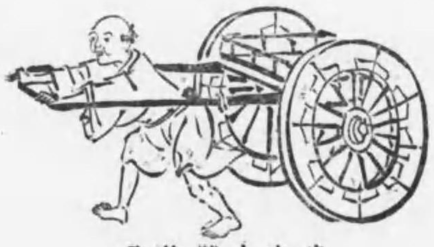
○扁額　三枚

慈心院額　一道風筆
一同寫　寫者賀茂藤木甲斐
一同寫
裏書　夫當院額者昔曾小野道風之墨跡舉世賞焉中間賀茂甲斐寫之代之辻伯耆彫焉予又効驥手寫之刻之道風甲斐二扁俱收拾秘庫內矣
享保十七壬子閏五月　現住俊應刻之
純淨觀之額　梶井法親王筆
古陶七賢人之額　支那製
髮毛製五字名流　弘法大師作
額　道風筆　二面各　各幅壹尺三寸五分
竪　菅公之詩

觀花幕之圖　豐公觀花所生絹等嵯筆　六曲　二隻
乘馬人物圖　岩佐又平筆　六曲　一雙
始皇狩之圖　光格天皇御遺品　六曲　一雙
舞樂之圖　筆者不詳　宗達筆　二曲　一雙
扇面張交圖　同　二曲　一雙

陶磁器

牛車之香爐　仁清
丁子風呂　仝
香象　朝鮮
染付德利　同
白銀薄端之花瓶　同
錫船形釣花瓶　同
白銀直切花瓶　菊御紋章彫　同
唐銅大砂鉢　同
仝　小砂鉢　同



牛車人勝莫盆

阿闍陀染付水指　同
仝　風呂
狸之燈籠　道八製
大樂火鉢

冶鑄器

宣德親子鼎香爐
宣德大花瓶　同　一口

宣德手爐　壹個
錫德利　同
唐銅桐御紋章付手水鉢　同
滅金長柄之銚子　壹對

○彫刻

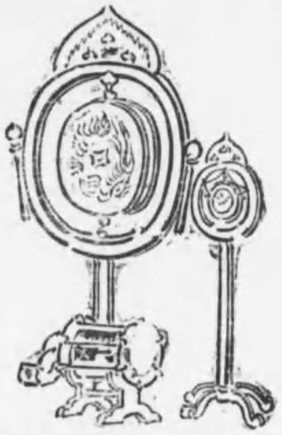
車曳人勝莫盆　左甚五郎作　壹個
唐桑誘彫提莫盆　大小四對
高麗狗　大小拾對
時代六角重箱　壹組

○刀劍

天國劍　大峯再開之時從舒明天皇賜所　長九寸
護摩刀　金銀具　長二尺五寸
同　長二尺七寸
同　長二尺九寸
朝曇太刀　長九寸五分
鎬　青貝柄
長刀　青貝柄

○音曲器

琵琶　銘唐錦丸　光格天皇御愛品　壹面
琵琶之記壹卷添　高演淮三宮筆



樂太鼓　唐桑臺添　壹面
琴　唐桑臺添　壹面
鍋　唐桑臺添　壹面
朝鮮製螺鈿筥入　二管
笛　筒袋添　壹管
篳篥　筒袋添　三管

○髹器

料紙硯筥　金梨子地葵御紋章入　一具
料紙硯筥　同　一合
料紙硯筥　螺鈿摸樣　一合
風呂字硯筥　螺鈿筥付　一合
唐桑磨出金摸樣硯筥　聚樂城遺品　一合
門橋硯筥　添付　忠岑硯　一合
御手本筥　梨子地金銀摸樣　一合

門橋硯筥

重箱　壹面
銚子　壹個
文臺　壹個
青貝蒔繪卓　壹個
唐桑蒔繪卓　壹個
蒔繪花臺　三個
六角食籠　流球蒔繪　一具
塗碗　豐公觀花用　壹組
青貝圓盆　壹脚
皆朱御紋付提重　壹個
黑塗御紋付銀具茶辨當箱　壹個

○衣裳

三寶院流傳衣　夏冬　二領
修驗道傳衣　同　二領
理性院流傳衣　壹領
無量壽院流傳衣　同
金剛王院流傳衣　同
地藏院流傳衣　同
後宇多法皇御製袈裟衣　壹組
七條衣　成賢僧正御所用　壹領
同　興正菩薩御所用　壹領

○剪綵繪

小屏風　花之宴紅葉之賀　二曲　片雙

○茗器

古天明之釜　光格天皇御遺品　銘延壽庵
黑木釜　有馬之繪
平釜　銘大樂堂
圓釜
巴釜
古蘆屋釜
切掛釜

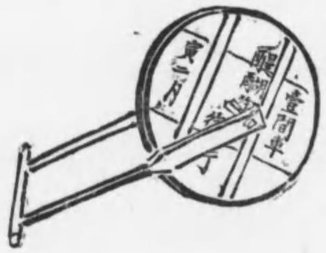
水指　素燒　銘水盡
同　信樂燒　銘大樂室
同　塗桶
黃金天目　一對
同天目臺　一個
古瀨戸天目　二個
黃伊良保茶碗
井戸脇茶碗
萬曆之茶碗
黑樂之茶碗　光格天皇御遺品
櫻富士之繪茶碗　笹葉形了入之作
赤樂天目　道入作
瀨戸耳付茶入　十個
仝振出茶入
眞塗桃山桐摸樣棘
仝牡丹模樣棘
茶杓　利休作　筥書付江岑
蓋置　櫻井纜
唐銅建水
結文茶筥　一具
眞臺子
高麗臺子
及臺子
長板

○輿

四方輿　足利時代
同　豐臣時代
轎輿　德川時代
腰輿　足利時代
板輿　新朔平門院樓御遺品

○禮品

平三位中將遺骨　天狗之爪
蛇骨
盆石富士
壺間車　古代測量器



正誤

	誤	正
一丁表　下段　五行目	准服	准胆
仝　裏　上段　廿三行目	不空羅	不空編
仝　中段　十三行目	太染	愛染
三丁表　上段　八行目	准服	准胆
仝　廿八行目	准服	准胆
仝　下段　十六行目	同ヲ脫ス	
仝　二十行目	大元	太元
仝　廿六行目	八臂大	八臂太
仝　裏　仝　廿三行目	勝俱服	勝俱胆
仝　仝　廿五行目	眞觀寺	貞觀寺
四丁表　中段　四行目	連華院	蓮華院
仝　仝　廿四行目	堯ヲ脫ス	

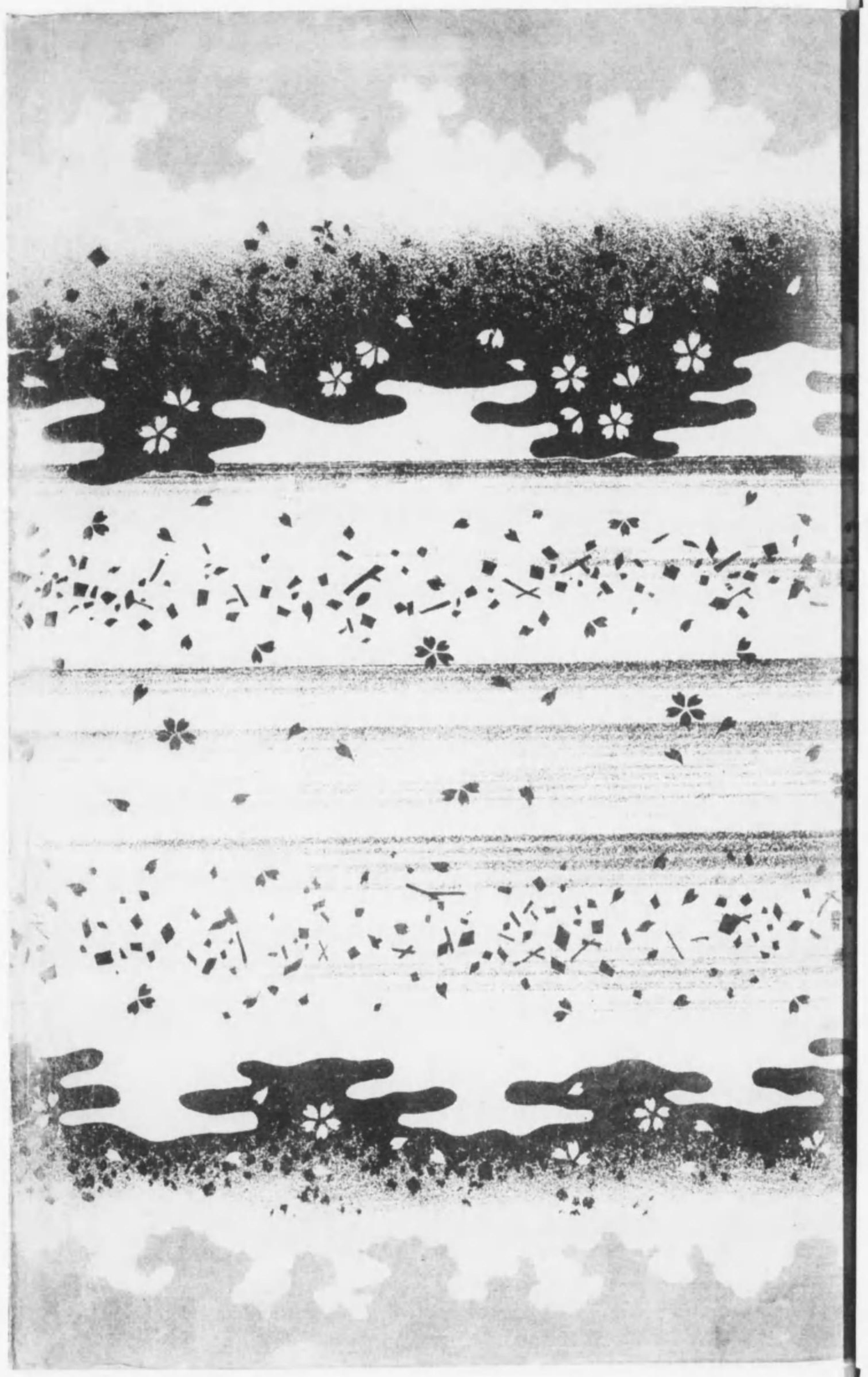
明治廿九年五月十四日印刷
仝　年五月十七日發行

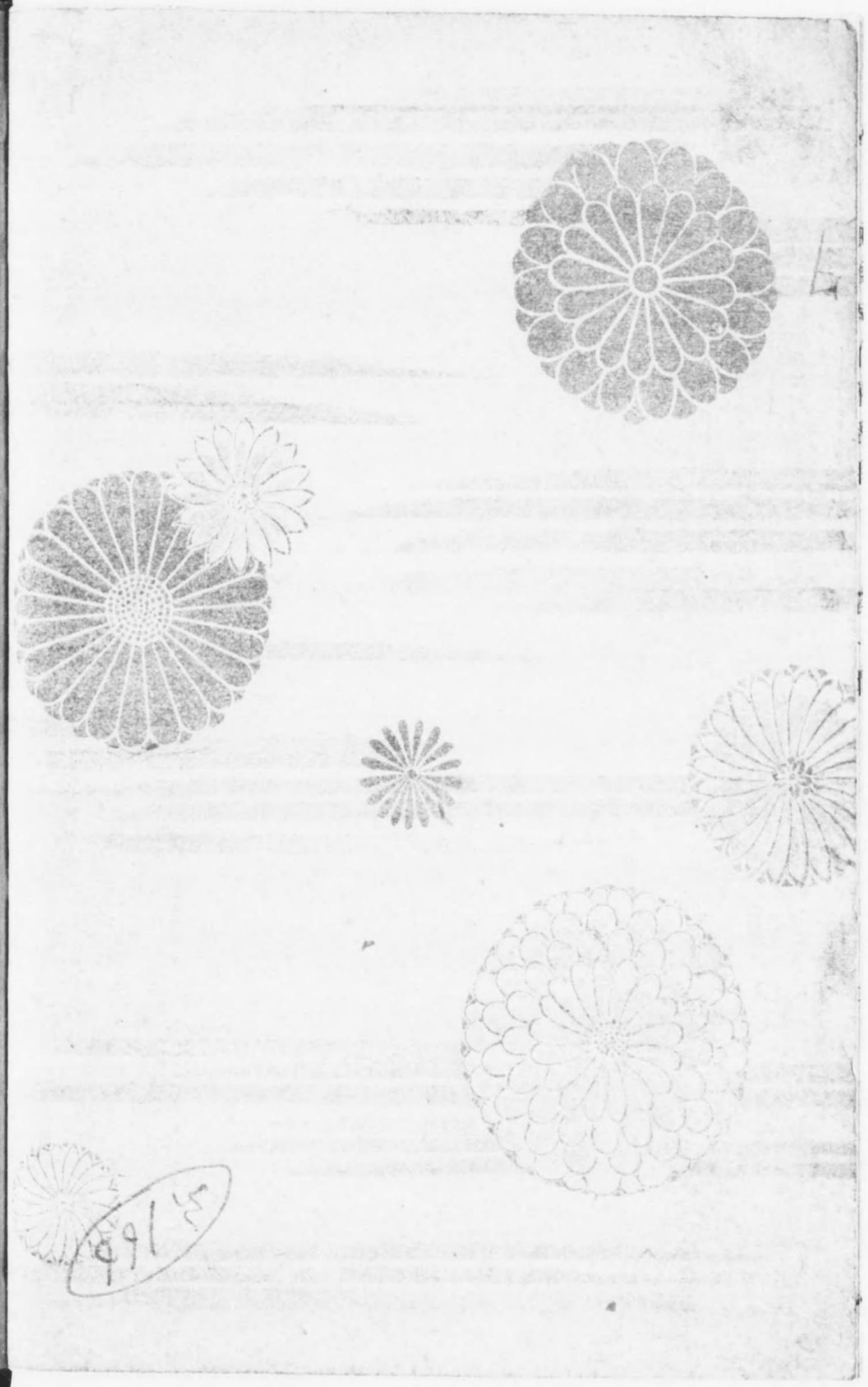
編輯兼發行者　德島縣平民　玉園快應
東京市神田區三崎町三丁目第壹番地寄留

發行所　醍醐寺保存會本部
京都府下宇治郡醍醐村大字醍醐第壹番地

印刷者　吾妻健三郎
東京駿河臺袋町東陽堂本店

印刷所　東陽堂支店
東京神田通新石町三番地





終